

授業科目

小児言語障害学II

担当教員名 山岸 達弥	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			○

授業の概要

言語発達障害の中で、学習障害(限局性学習症)、注意欠如・多動症、特異的言語発達障害などの特徴を学ぶ。代表的な検査であるWISC-IVを通して検査概要を理解する。また、その検査結果の解釈の仕方を習得し、指導プログラムへの流れを理解する。

授業の目的

言語発達障害の中で、学習障害(限局性学習症)、注意欠如・多動症、特異的言語発達障害などの特徴を理解し、評価、検査、指導プログラムの立案などを学ぶ。代表的な検査の実践を通して検査概要を理解する。また、検査結果の解釈の仕方を習得し、指導プログラムへの流れを理解する。

学習目標

- 1 言語発達障害に関する基礎知識を習得し、概説できる。
- 2 学習障害(限局性学習症)、注意欠如・多動症、特異的言語発達障害などの臨床像を把握し、説明できる。
- 3 各障害の評価・訓練を学び、その要点を説明できる。
- 4 言語聴覚士と発達障害児の生活面でのかかわりを学び、実態について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	言語発達障害オリエンテーション 言語発達障害の概要と関連領域	講義	山岸 達弥
2	学習障害(限局性学習症)	講義	山岸 達弥
3	学習障害(限局性学習症)	講義 DVD	山岸 達弥
4	注意欠如・多動症	講義	山岸 達弥
5	注意欠如・多動症	講義 DVD	山岸 達弥
6	検査の種類と実際 (1) WISC-IVの使用法と解釈 1	講義	山岸 達弥
7	検査の種類と実際 (2) WISC-IVの使用法と解釈 2	講義 演習	山岸 達弥
8	検査の種類と実際 (3) WISC-IVの演習 1	演習	山岸 達弥
9	検査の種類と実際 (4) WISC-IVの演習 2	演習	山岸 達弥
10	検査の種類と実際 (5) WISC-IVの演習 3	演習	山岸 達弥
11	検査の種類と実際 (6) WISC-IVの演習 4	講義	山岸 達弥
12	特異的言語発達障害など	講義 VTR	山岸 達弥
13	検査結果の解釈と支援プログラム	講義	山岸 達弥
14	検査結果の解釈と支援プログラム	講義	山岸 達弥
15	まとめ	講義	山岸 達弥

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 (第2版)	藤田郁代、玉井ふみ、深浦順一	医学書院	2015年	5,000円+税	2年次前期購入済
参考書	日本版WISC-IVによる発達障害のアセスメント	上野一彦、松田修、小林玄 他	日本文化科学社	2015年	2,900円+税	
その他の資料	プリント					

評価方法

レポート、発表内容および定期試験で評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜日 12:00～13:00

連絡先：yamagisi@nuhw.ac.jp